

京都西山麓カ発信プロジェクト

京都西山さんぽ

～秋の紅葉篇～

京都市印刷所電話0545332号・令和5年9月発行
問合せ先 発行/西京区役所洛西支所地域力推進室まちづくり推進担当
Tel 075-332-9318 Fax 075-332-8187

京都市

MapNo 05

しょうぼうし『正法寺』

真言宗東寺派のお寺で、本寺の三面千手観世音菩薩立像は、重要文化財。聖観音立像は空海が彫刻したと伝わる。

▲京都市有形文化財に指定されている通照塔

極楽橋を渡り、参道を抜けた先の境内では、いたるところで奥っ赤な紅葉を楽しむことができる。特に朱塗りの遍照塔（へんじょうとう）と紅葉は是非セットで見たい。

正法寺に来たら「鳥獣の石庭」を見ずには帰れない。様々な動物たちに見立てた巨石が置かれ、庭木の緑や池のせせらぎが美しい。春には一本桜が満開となる。

○9:00～17:00 拝観料：300円 TEL：075-331-0105
駐車場：30台
アクセス：バス停「南春日町」下車徒歩約10分

歴史と自然あふれる癒しの地京都西山に
ゆかりのある歴史上の人物をイメージ

『京都西山PRキャラクター』

Instagramもやってます！是非フォローしてね。

『なり様』
（在原業平のイメキャラ）
平安時代のイケメン貴族「在原業平」。晩年は西山の十輪寺で静かに過ごした。

『お玉ちゃん』
（桂昌院のイメキャラ）
徳川細吉の母「桂昌院」。応仁の乱で焼け落ちた西山の寺社を再建。

『さい君』
（西行法師のイメキャラ）
花を愛した歌人「西行法師」。彼が手植えた西行桜は、今も勝持寺で咲き続ける。

京都西山って？

京都三山として、北山・東山と並び『京都西山』。洛西地域、向日市、長岡京市、大山崎町にまたがる広い地域で、桜や紅葉、美しい田園風景など、自然豊かな見どころが満載！！また、かつての都で日本の中心だった「長岡京」があり、平安時代の小説『源氏物語』や、天下分け目の戦いと呼ばれる『山崎の合戦』の舞台にもなるなど、魅力あふれる歴史・文化が盛り沢山！！

YouTubeで京都西山のPR動画も公開中！是非チェックしてみてね。

MapNo 06

よしみなでら『善峯寺』

応仁の乱で衰退したが、金蔵寺同様、桂昌院によって再建され、境内には桂昌院お手植えの桜が今も残されている。

▲京都の街並みを堪能できる眺め
浄土宗西山派の祖、浄空（西山上人）と百人一首の成立に深く関わった跡生（れんしょう）が祀られている。善峯寺に隣接し、善峯寺境内からもアクセス可能。
広々として落ち着いた雰囲気客殿からは、紅葉越しに京都市内が一望でき、まさに絶景のひとつ。

○9:00～16:30 TEL：075-331-0022
拝観料：境内無料 本堂・客殿500円
駐車場：門の前に停められますが、道が狭いためご注意ください。
アクセス：バス停「善峯寺」下車「阿智坂南神」入り口より徒歩約10分

MapNo 01

おほらのしんしゃ『大原野神社』

新古今和歌集にも歌われている大原野神社の美しい紅葉は、平安時代から多くの人を楽しませてきた。かの紫式部もファンの人だったという。

▲参道を彩る美しい紅葉
正面の一の鳥居からまっすぐに伸びる約200mの参道は、美しい紅葉のトンネルになっており、参道を抜けると見えてくる朱色の社殿と紅葉はインスタ映え間違いなし。

また、奈良の春日大社から分社されたため、境内に置かれているのは大小さまざまな鹿たち。鹿のおみくじや鹿がプリントされた絵馬など、かわいいうえしと品もゲットしよう。

▲なんと手水場にも鹿

▲かわいい神鹿みくじ

○参拝自由（社務所9:00～17:00） 拝観料：無料 TEL：075-331-0014
駐車場：40台（有料）
アクセス：バス停「南春日町」下車徒歩約8分

MapNo 08

むこうしんしゃ『向日神社』

向日市の名前の由来でもある神社。朝鮮出兵の際、豊田秀吉が参拝したとも言われている。正面の鳥居をくぐると現れる長い石畳の参道には、春は桜、秋は紅葉の美しいアーチがかかる。

▲一直線に伸びる参道

▲舞楽殿から望む紅葉

参道を進んだ先に見えるのは風情ある舞楽殿（ぶがくてん）と拝殿（はいでん）。拝殿の周りには、紅葉と石畳が映えるフォトスポットとして人気。

▲拝殿周りの色とりどりの紅葉
向日神社の本殿は、東京の明治神宮本殿のモデルにもなっている。
なお、境内には向日市天文館もあり、プラネタリウムや望遠鏡での観測が楽しめる。（※天文館には駐車場なし）

○参拝自由（社務所9:00～16:00） 拝観料：無料
駐車場：10台 TEL：075-921-0217
アクセス：阪急京都線「西向日」駅下車徒歩約10分

MapNo 02

こんぞうし『金蔵寺』

かつて桓武天皇が平安京に都を移したとき、都の四方のうち西を守るために經典が埋められたという由緒あるお寺。応仁の乱で焼け落ちてしまったものの、桂昌院によって再建された。仁王門から本堂へ向かう石段は、頭上いっぱい紅葉が広がる。
また、秋の終わりには、境内一面に広がる紅葉のじゅうたんも楽しめる。

▲石段に敷き詰められた散り紅葉
境内のいたるところに置かれているかわいい置物を散策して探すのも楽しみのひとつ。

▲小屋で酒を酌み交わすたぬき
京都でも知る人ぞ知る紅葉の秘境スポットを堪能してみて。

○8:00～17:00 拝観料：300円 TEL：075-331-0023
駐車場：20台
アクセス：バス停「南春日町」下車徒歩約1時間

MapNo 09

こうみょうじ『光明寺』

善峯寺、楊谷寺とともに「西山三山」の1つで、法然が初めて「南無阿彌陀仏」の念仏の教えを説いたと伝えられる。頭上を覆う紅葉と、石畳を埋め尽くす落葉が彩る「もみじ参道」は是非カメラに収めたい。
最近話題の御影堂のハートマークも、お参りの際には是非探してみよう。

▲江戸時代から続く「もみじ参道」

▲ハートを見つけて恋愛運アップ

○9:00～16:00 拝観料：紅葉シーズンは1,000円
駐車場：なし TEL：075-955-0002
アクセス：バス停「旭が丘ホーム前」下車徒歩約3分

MapNo 10

やなぎだにのんようこくし『柳谷観音楊谷寺』

清水寺の開祖である延鎮（えんちん）が開創し、「西の清水」とも呼ばれる。また、眼病諸病平癒の霊水が湧く。紅葉シーズンは上書院が毎日限定公開され、そこから臨む名勝庭園の紅葉は絶対に見逃さない。季節限定の御朱印も是非手に入れたい。

▲上書院から臨む名勝庭園の紅葉

▲花水巻発祥のお寺

○9:00～17:00 TEL：075-956-0017
拝観料：詳しくはホームページをご確認ください。
駐車場：あり
アクセス：バス停「奥海印寺」徒歩約40分

MapNo 03

じゅうりんし『十輪寺』

山の中にひっそりとたたずむ十輪寺。平安時代のイケメン貴族の在原業平が晩年を過ごしたとされる。本堂の横には、業平御殿（なりひらごてん）と名付けられたお堂があり、本堂とお寺をつなぐ回廊からは、紅葉でいっぱいの庭園が一望できる。

▲回廊から見える庭

▲本堂は曲線の屋根が美しい

▲鐘楼に紅葉が色を添える

また、寺の高台には、業平が使っていた塩竈（しおがま）が残されているほか、紅葉に彩られた本堂を上から眺めて楽しむこともできる。
春には境内の美しい花水巻（はなちようず）も要チェック。

▲花の水巻
境内のななりひらごみしを見つけてみる。

▲なり様（在原業平のイメキャラ）

○9:00～17:00 拝観料：400円
駐車場：15台 TEL：075-331-0154
アクセス：バス停「小塩」下車徒歩約1分

MapNo 11

ながおかつんまんくう『長岡天満宮』

錦泉苑の池にかかる紅葉
「紅葉庭園」とも呼ばれる「錦泉苑（きんけいえん）」は、その名のとおり、秋色に染まった大小のモミジが固い一帯に広がる人気スポット。

▲樹齢170年のキリシマツツジ
4月には八条ヶ池に満開のツツジが咲き乱れる。天満宮といえば、学問の神様「菅原道真公」。牛が公の使いとされており、ここにはかわいい仔牛の像もあるので要チェック。
モネの「睡蓮」などの名作が多数展示されている染100年の英京風洋館の美術館。
所蔵作品だけでなく庭園も見どころの一つ。秋には燃えるようなカエデの赤色とイチヨウの黄色が庭園を埋め尽くす。

○参拝自由（社務所9:00～17:00） TEL：075-951-1025
駐車場：第1駐車場：最初40分無料 以降30分毎100円
第2駐車場：30分毎100円（1日最大600円）
※ご祈禱を受けたい方は2時間まで無料 ※繁忙期は別料金
アクセス：阪急京都線「長岡天神」駅下車徒歩約10分

MapNo 12

ほうしやくじ『宝積寺』

山崎の戦いで豊田秀吉の本陣が置かれたのが宝積寺。秀吉が戦勝の礼にたった一晚で建立したと伝えられる三重塔と、黄色に色づくイチョウとモミジの美しいコラボレーションは絶対に見逃さない。

▲重要文化財の三重塔
○9:00～16:00 拝観料：400円 TEL：075-956-0047
駐車場：10台 アクセス：阪急京都線「大山崎」駅、JR京都線「山崎」駅下車徒歩約15分

MapNo 13

おおよまざきさんそうびしつかん『アサヒグループ大山崎山荘美術館』

5500坪もの庭園
モネの「睡蓮」などの名作が多数展示されている染100年の英京風洋館の美術館。
所蔵作品だけでなく庭園も見どころの一つ。秋には燃えるようなカエデの赤色とイチヨウの黄色が庭園を埋め尽くす。

○10:00～17:00（最終入館16:30） 山荘庭園：無料 美術館：900円（一般）
駐車場：なし TEL：075-957-3123（総合案内） アクセス：阪急京都線「大山崎」駅、JR京都線「山崎」駅下車徒歩約10分

MapNo 04

しょうじじ『勝持寺』

紅葉に包まれる境内
桜とモミジが約100本ずつ植えられている、通称「花の寺」。春の桜も見ごたえがあるが、秋の紅葉も素晴らしい。黄、オレンジ、赤と、色とりどりの紅葉が境内を埋め尽くす光景は圧巻のひとつ。場所によって見どころが異なるため、いつ来ても違った景色が迎えてくれる。

▲静かに落ち着く鐘楼堂
また、紅葉に包まれる鐘楼堂は、春の華やかな西行燈との共演とはまた違った姿を見せてくれる。
瑠璃光殿（るりこうでん）では、高さ約3mある迫力満点の金剛力士像が間近で楽しめる。

▲重要文化財の金剛力士像
○9:30～16:30（受付16:00終了） TEL：075-331-0601
拝観料：大人400円 / 中学生300円 / 小学生200円
駐車場：30台 アクセス：バス停「南春日町」下車徒歩約25分

MapNo 14

しょうしやくじ『宝積寺』

山崎の戦いで豊田秀吉の本陣が置かれたのが宝積寺。秀吉が戦勝の礼にたった一晚で建立したと伝えられる三重塔と、黄色に色づくイチョウとモミジの美しいコラボレーションは絶対に見逃さない。

▲重要文化財の三重塔
○9:00～16:00 拝観料：400円 TEL：075-956-0047
駐車場：10台 アクセス：阪急京都線「大山崎」駅、JR京都線「山崎」駅下車徒歩約15分

MapNo 15

おおよまざきさんそうびしつかん『アサヒグループ大山崎山荘美術館』

5500坪もの庭園
モネの「睡蓮」などの名作が多数展示されている染100年の英京風洋館の美術館。
所蔵作品だけでなく庭園も見どころの一つ。秋には燃えるようなカエデの赤色とイチヨウの黄色が庭園を埋め尽くす。

○10:00～17:00（最終入館16:30） 山荘庭園：無料 美術館：900円（一般）
駐車場：なし TEL：075-957-3123（総合案内） アクセス：阪急京都線「大山崎」駅、JR京都線「山崎」駅下車徒歩約10分